

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 14 日(火曜日)18 時 30 分～20 時 40 分		
開催場所	岡見まちづくりセンター	参加人数	10 人
出席議員	村武まゆみ、布施賢司、大谷学	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	<p>【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道でありながら、コミュニティバスが通らない（市道の草刈の問題もある） ・地元スーパーが閉店した、ボランティアで週一開店するが、赤字である。スタッフも高齢化でこの先運営も不安。来たいけど移動手段がない人はタクシーで来店を促す（片道補助制度している）。 <p>予算が拡充された、あいのりタクシー事業を移動手段として考えている。</p>		
	<p>【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について</p>		
	<p>【産業建設】 地域産業の問題点と課題について</p>		

自由意見	<p>【総務文教委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと同窓会支援事業⇒なぜ若者だけなのか？シニア層にも定年を迎えてIターンする人もいる、バランスをとってその支援も必要では ・まちづくりに対して人口規模だけで交付金を決定するのではなく、もっと現状を把握したうえで、集落が維持できない所に配分する考えや活動をしっかりやっているところにお金をだすべきだ。 ・郷土資料館を早く建設するべきだ。なぜ、建設が進まないのか？ ・発電所に社宅があるが、社宅から通学する児童は0人である。若い世代の方に家族揃って赴任していただくようお願いができないか、それには浜田の魅力をもっと発信すべきだ。(岡見小学校 40人、不安) ・良い取組や成果が上がった施策はもっと広報をすべきだが広報が下手である。専門家に頼んではどうか？
	<p>【福祉環境委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のサロン事業など集落ごとに施設で活動するが、電源立地地域対策交付金で建設された集落の施設は大きいいため、エアコンが5台取り付けてある。活動すると電気料金Aプラン(年間、基本2万円)が季節によってBプラン(年間、10万円)になり負担が大きく活動が制限される。市に対して相談しているが、どうすべきか悩んでいる。 ・市長は「子育てしやすいまち」と言われているいろいろ子育て支援をされ助かっている方は確かにいるが、何か一つ足りないように感じる。女性の立場に立ったお金ではない助成も必要ではないか。(女性議員の活躍を期待する)
	<p>【産業建設委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田漁港の整備等はどの方面からの働きがあつてするのか、自分たちは分からない。(その必要性和経過等を広報すべきでは)